

## プール及び野外活動施設等の見直しの取り組み状況（中間報告）について

本市では、平成 24 年 8 月に策定した「プール及び野外活動施設等の見直しに係る基本的な考え方※」（以下、「基本的な考え方」と言う。）に基づき、本市が保有するプール及び野外活動施設等の見直しを進めています。そこで、所管施設における、25 年度までに行った見直しや利用促進等の取り組み、利用状況、26 年度に予定している取り組みを御報告します。

※平成 22 年度の「横浜市事業評価会議」及び 23 年度の「横浜市公共施設のあり方検討委員会」で、本市が所有するプール及び野外活動施設等の効率的、効果的な運営及び施設のあり方についてご提案をいただきました。この提案を踏まえ、市民や市会の皆さまからもご意見をいただきながら、24 年 8 月に「プール及び野外活動施設等の見直しに係る基本的な考え方」を策定しました。

### 1 対象施設

市内プール	【屋内】余熱プール等（都筑、旭、リ初金沢、ふれーゆ）、旧余熱プール（港南、栄、保土ヶ谷）、その他屋内プール（西スポーツセンター、清水ヶ丘、日産ウォーターパーク、横浜国際） 【屋外】公園プール(28 か所)、その他屋外プール（本牧市民、横浜プールセンター）、学校プール(510 か所)
野外活動施設等	野島青少年研修センター、 <b>青少年野外活動センター（三ツ沢公園、こども自然公園、くろがね、道志）</b> 、上郷・森の家、少年自然の家（赤城林間学園、南伊豆臨海学園）

※学校プールは、学校の統廃合等により、26 年 4 月現在、504 か所となっています。

### 2 「基本的な考え方」

#### (1) 「総論」

- ア 安全性の問題がある施設等を除き、利用促進策として、施設の周知（PR）や魅力づくりなどを行います。また、経営改善策として、利用料金の改定の検討やコスト削減などを行います。
- イ アを行った上でなお改善が見込めない施設については、施設の集約化、廃止など施設の選択と集中を図ります。なお、個々の施設の存廃については、施設ごとに具体策を決定します。
- ウ 施設の選択と集中にあたっては、施設の設置の経緯、利用状況、施設配置、コスト、安全性等を踏まえ、方針を決定します。ただし、施設の状況によっては、民間活用の可能性を検討した上で、方針を決定します。また、利用状況やコスト状況などの情報を積極的に発信します。
- エ 施設の選択と集中にあたっては、利用者や地域の方の意見や消防水利等防災上の位置づけを踏まえつつ、利用者に配慮した代替策や跡地利用策などを検討します。
- オ 施設の集約化や廃止の時期は、施設の老朽度や利用状況等を踏まえ、決定します。なお、決定にあたっては、利用者に配慮した時期となるよう検討します。

#### (2) 施設分類ごとの「見直しの考え方」 ※所管施設の該当部分を抜粋

施設分類	見直しの考え方
青少年野外活動センター【市内】 （三ツ沢公園 こども自然公園 くろがね）	（ア）利用促進を図った上で、平成 26 年度末までに適正な施設規模を検討します。 （イ）平成 26 年度末までに利用改善及び経営改善が図られない場合は、施設の集約化を実施します。 （ウ）施設の集約化を実施する場合は、利用者に配慮して、青少年の健全育成の機会がなくならないよう、代替策や跡地利用策を検討の上、集約化を実施します。
青少年野外活動センター【市外】 （道志）	（ア）道志村との交流を推進するとともに、道志村の意見も踏まえながら、キャンプ場は、機能の変更、廃止を含めて平成 24 年度末までに検討します。 （イ）施設を廃止する場合は、利用者に配慮して、青少年の健全育成の機会がなくならないよう市内青少年が道志村の民間キャンプ場を利用する場合の優待利用の実施など、代替策を検討の上、実施します。 （ウ）スポーツ広場は、道志村による有効活用について検討します。

### 3 25年度までに所管施設で行った取り組み

施設分類	25年度までに行った取り組み
<b>青少年野外活動センター【市内】</b> (三ツ沢公園 こども自然公園 くろがね)	<b>【利用促進・経営改善】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市野外活動施設をPRするチラシ「野外活動施設のご案内」を作成し(150,000枚)、市立小学校の1～3年生の全児童や関係団体等へ配布。</li> <li>広報よこはま、自施設のホームページ等を活用したPR活動。</li> <li>抽選会の申込みを電話、FAX、インターネットで受付可能とするなど、利用申請手続きを簡素化。</li> </ul>
<b>青少年野外活動センター【市外】(道志)</b>	<b>【施設の方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>24年度末にキャンプ場を廃止。</li> <li>施設の廃止に伴い、25年度から代替策(村内キャンプ場の市民優待サービス)を開始。</li> <li>スポーツ広場の建物は、道志村に無償譲渡。</li> </ul>

### 4 25年度の所管施設の利用状況

積極的な施設PRや利用申請手続きの簡素化など、利用促進や経営改善等に取り組んだ結果、24年度と比較し、全ての施設において利用者増となっており、対前年比で、三ツ沢公園青少年野外活動センターについては814人、こども自然公園青少年野外活動センターについては320人、くろがね青少年野外活動センターについては、1,426人の増となっています。

また、「基本的な考え方」の施設分類ごとの「見直しの考え方」において対象施設となってはませんが、野島青少年研修センターの利用者数については、対前年比で2,477人の増となっています。

その他、道志青少年野外活動センター廃止に伴い、代替策として道志村内キャンプ場の利用料を助成する市民優待サービスを実施し、延べで9,572人の利用がありました。

(単位:人)

施設名	ピーク時		実績					H24/H25	備考
	年度	利用者数	H21	H22	H23	H24	H25	増減数	
野島青少年研修センター	H19	53,464	48,876	47,499	18,580	41,031	43,508	2,477	被災者受け入れのための営業休止期間あり(H23)積極的な施設PRによる増
三ツ沢公園	H21	26,852	26,852	22,094	17,047	22,163	22,977	814	積極的な施設PRや利用申請の簡素化等による増
こども自然公園	H25	30,920	30,809	29,265	24,161	30,600	30,920	320	積極的な施設PRや利用申請の簡素化等による増
くろがね	H21	21,348	21,348	18,971	16,594	17,669	19,095	1,426	積極的な施設PRや利用申請の簡素化等による増

### 5 26年度に所管施設で予定している取り組み

パンフレットやチラシの配布、広報よこはまへの記事掲載による施設の周知、25年度に実施した指定管理者第三者評価を踏まえた、より効果的なイベント・プログラムの実施等、26年度も引き続き、横断的な広報活動や効率的な運営など施設の利用促進、経営改善にしっかり取り組みます。

#### ※ 今後のスケジュール

26年度に利用促進、経営改善に十分取り組んだ後、27年第2回定例会にて、改めて取り組み内容や各施設の利用状況等を御報告するとともに、あわせて、各施設の方針の方向性を示します。

(1) プール施設

施設分類	見直しの考え方	25年度までに行った取り組み
<p><b>プール全体</b></p>	<p>利用状況、コスト、安全性、配置等に課題のある全ての施設を、集約化、廃止、利用促進、経営改善等の見直しの検討対象とします。検討にあたっては、旧余熱プールや公園プールなどの施設区分ごとではなく、他の施設を含め総合的に見直しを図ることとします。</p> <p>特に見直しの必要がある施設は、施設が近接する7エリア及び休止中のプールとします。対象の7エリアは、鶴見区・神奈川区・港北区エリア、中区・磯子区エリア、西区・南区・保土ヶ谷区エリア、旭区エリア、都筑区エリア、港南区・磯子区・栄区エリア、金沢区エリアとします。</p>	<p><b>【利用促進・経営改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市プール施設をPRするパンフレット「横浜市プールガイド」を作成し(193,000枚)、市立小学校全児童への配布や各区広報窓口での配架を実施するとともに、広報よこはま全市版・各区版に紹介記事を掲載するなど、横断的に本市プール施設のPR活動を実施。</li> <li>各プール施設の利用状況を把握し、利用促進策や今後の見直しを進める上での参考にするため、プール施設の利用状況調査を実施。</li> </ul> <p><b>【施設の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プール施設利用状況調査を実施。</li> </ul>
<p><b>旧余熱プール</b> <b>港南プール</b> <b>栄プール</b></p> <p>【市民局】</p>	<p>(ア) 栄プール、港南プールは、利用促進、経営改善を図った上で、施設の存廃を平成26年度末までに検討します。また、耐震が必要とされている港南プールは、耐震調査委託を実施し、耐震に必要な実工事費を算出します。</p> <p>(イ) 平成26年度末までに経営状況が改善されない場合は、利用者数やコスト(税負担、耐震対策を含めた積み残し保全費)などの視点を総合的に勘案し、老朽度や耐用年数を考慮して、廃止及び他施設への集約化を検討します。</p>	<p><b>【利用促進・経営改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要の高い教室事業の参加料金を改定。(栄プール)</li> <li>新規利用者の確保を目的とした、教室無料体験キャンペーンを開催。(栄プール)</li> <li>フロアスポーツ教室を開催(24年度中に会議室をフロアへ改修)。(港南プール)</li> </ul> <p><b>【施設の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震調査委託を実施(工事費:約2億円)。(港南プール)</li> </ul>
<p><b>公園プール</b></p> <p>【環境創造局】</p>	<p>(ア) 近隣に代替施設があるエリアについては、利用促進、経営改善を図った上で、利用状況、施設配置、コスト、施設の老朽度を考慮して段階的に集約化を検討します。</p> <p>(イ) 鶴見区・神奈川区・港北区エリア、中区・磯子区エリア、西区・南区・保土ヶ谷区エリアの、特にプールが近接している3エリアについては、利用促進、経営改善の取組を行い、その結果を見た上で、なお改善が見込めない施設については、施設の方針を平成26年度末までに検討します。</p> <p>(ウ) 施設の老朽化により、現在、休止中のプールについては、これまでの利用状況や費用対効果を踏まえながら他の公園施設への機能転換を検討します。</p> <p>(エ) 集約化先の施設は利用促進のための魅力づくりとして、施設機能の追加や再整備を検討します。</p> <p>(オ) 集約化する公園プールは、他の公園施設への機能転換を検討します。なお、廃止時期については、すぐに廃止するのではなく、大規模修繕の前まで施設を運営させるなど施設の老朽度や耐用年数を考慮して決定します。</p> <p>(カ) 施設の老朽化や集約化に伴う他の公園施設への機能転換や施設機能の追加、再整備にあたっては地域の意見を踏まえつつ検討を進めます。</p>	<p><b>【利用促進・経営改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各指定管理者と協力して、プールごとのチラシを作成し、近隣の小学校へ配付を実施。</li> <li>各公園プールにおいて様々なイベントを実施 (主なイベント・取り組み) 水泳レッスン 救急救命講習 流れるプールを作って遊ぼう! 絵画展 スタンプラリー タイムトライアル フラダンス プール縁日 共通回数券の発行 など</li> </ul>
<p><b>その他屋外プール</b> <b>本牧市民プール</b> <b>横浜プールセンター</b></p> <p>【市民局】</p>	<p>(ア) 設置の経緯に配慮するとともに、利用促進、経営改善を図った上で、民間等による運営継続の可否、施設の集約化を含めて平成26年度末までに検討します。</p> <p>(イ) 施設の集約化を実施する場合は、市民意見を踏まえつつ、集約化先の施設は魅力づくりとして、施設機能の追加や再整備を検討します。</p>	<p><b>【利用促進・経営改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水泳教室の拡充・各種アトラクション(フラダンスショー等)の開催。(本牧市民プール)</li> <li>キッチンカーによる飲食物販売。(横浜プールセンター)</li> </ul> <p><b>【施設の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度などの民間活力の導入検討(平成26年度:継続)</li> </ul>
<p><b>学校プール</b></p> <p>【教育委員会事務局】</p>	<p>(ア) 中学校プールについては、新築や建替えの際に、近隣の2校~3校のうち1校に屋内型プールを整備し複数校で共同利用する拠点校方式を基本とし、モデル事業で検証していきます。</p> <p>(イ) 小学校プールについては、各校に整備します。</p> <p>(ウ) 上記の方針を基本としつつ、併せて、本市が所有するプールや民間プール等の活用も検討します。</p>	<p><b>【施設の方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あかね台中学校に拠点校方式の屋内型プールを整備(24年3月竣工)して、近隣の奈良中学校との共同利用をモデル事業として実施(奈良中学校生徒による水泳授業、水温測定)。検証の結果、想定していた以上に課題が多い。(中学校プール) ①バスの乗降や点呼等、想定していた以上に移動に時間がかかり、前後の授業等との調整が困難 ②引率、準備等のため、想定していた以上の人員が必要 ③夏以外は水温が上がらないため、想定していた長い期間の使用が困難</li> </ul>

(2) 野外活動施設等

施設分類	見直しの考え方	25年度までに行った取り組み
<b>青少年野外活動センター【市内】</b> (三ツ沢公園 ども自然公園 くらがね) 【こども青少年局】	(ア) 利用促進を図った上で、平成 26 年度末までに適正な施設規模を検討します。 (イ) 平成 26 年度末までに利用改善及び経営改善が図られない場合は、施設の集約化を実施します。 (ウ) 施設の集約化を実施する場合は、利用者に配慮して、青少年の健全育成の機会がなくなるよう、代替策や跡地利用策を検討の上、集約化を実施します。	<b>【利用促進・経営改善】</b> ・本市野外活動施設をPRするチラシ「野外活動施設のご案内」を作成し(150,000枚)、市立小学校の1～3年生の全児童や関係団体等へ配布。 ・広報よこはま、自施設のホームページ等を活用したPR活動。 ・抽選会の申込みを電話、FAX、インターネットで受付可能とするなど、利用申請手続きを簡素化。
<b>青少年野外活動センター【市外】</b> (道志) 【こども青少年局】	(ア) 道志村との交流を推進するとともに、道志村の意見も踏まえながら、キャンプ場は、機能の変更、廃止を含めて平成 24 年度末までに検討します。 (イ) 施設を廃止する場合は、利用者に配慮して、青少年の健全育成の機会がなくなるよう市内青少年が道志村の民間キャンプ場を利用する場合の優待利用の実施など、代替策を検討の上、実施します。 (ウ) スポーツ広場は、道志村による有効活用について検討します。	<b>【施設の方針】</b> ・24年度末にキャンプ場を廃止。 ・施設の廃止に伴い、25年度から代替策(村内キャンプ場の市民優待サービス)を開始。 ・スポーツ広場の建物は、道志村に無償譲渡。
<b>上郷・森の家</b> 【市民局】	周辺施設との連携など施設の特徴を生かした魅力的なプログラムの開発などの利用促進、経営改善について利用状況等を精査しながら、平成 24 年度末までに検討します。	<b>【利用促進・経営改善】</b> ・人員体制やバーデゾーンの営業時間を見直し。 ・横浜自然観察の森、金沢動物園等と連携した集客イベントを実施。 ・閑散期の平日割引プランを設定。 <b>【施設の方針】</b> ・①市民の身近な宿泊施設としてのサービス向上、②横浜自然観察の森、金沢動物園と連携した魅力的なプログラムの開発、③閑散期の集客対策をはじめとした経営改善を図るため、民間ノウハウを活用した運営方法について検討を開始。 ・サウンディング型市場調査を実施し、事業者から意見聴取する等、民間ノウハウを活用した運営方法について検討を推進。
<b>少年自然の家</b> (赤城林間学園 南伊豆臨海学園) 【教育委員会事務局】	(ア) 昭和村との交流を推進するとともに、赤城林間学園の施設の一部であるキャンプ場の閉鎖を含めて、平成 24 年度末までに検討します。 (イ) 南伊豆臨海学園については、利用促進及び経営改善に努めます。	<b>【利用促進・経営改善】</b> ・本市野外活動施設をPRするチラシ「野外活動施設のご案内」を作成し(150,000枚)、市立小学校の1～3年生の全児童や関係団体等へ配布。 ・広報よこはま、自施設のホームページ等を活用したPR活動。 ・校長会への利用促進のための説明。(南伊豆) <b>【施設の方針】</b> ・25年度末に赤城林間学園のキャンプ場を廃止。(赤城) ・25年10月に赤城林間学園が所在する昭和村と友好交流協定を締結し、交流を推進。(赤城)

## 横浜市の

## 野外活動施設のご案内

～都会では味わえない豊かな自然に触れに来ませんか～

豊かな自然が  
いっぱい！プログラムも  
充実！経験豊富な  
スタッフが  
サポート！利用料金も  
お得です！

## できること

- ★ 野外炊飯（カレー作り、バーベキュー、ダッチオーブンなど）
- ★ 野外活動（キャンプファイア、クラフト、野外ゲームなど）

ほかにも、施設によっては、カッター、カヤック体験、焼き芋、干物作り、潮干狩り、こんにゃく作りなど日常生活では経験できない、さまざまな体験活動ができます。

## 利用できる人・団体

子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウトなどの青少年団体や地域のスポーツチーム・大学のサークルなどの青少年に関係する団体、保育園・学童・学校などの団体・グループ。

## ★ 家族やグループで利用したい場合

原則として、団体利用を優先しますが、家族・グループ（20歳以上の引率者を含む）でご利用いただけます。

## ★ 個人で利用したい場合

各施設では、野外活動の体験など初心者の方にも楽しんでいただけるイベントを実施しています。

ぜひ、ご参加ください。

※ 詳しくは、各施設へお問い合わせいただくか、各施設のホームページをご確認ください。



## 横浜市内の施設



### ① ミツ沢公園青少年野外活動センター



#### 施設機能



宿泊定員：宿泊室 150 人

#### 施設からのひとこと

横浜駅近くとは思えないほど自然が残る公園には、溪流の宝石の異名を持つカワセミをはじめ、真っ白なコサギやかわいいカルガモがやって来る池があります。

石窯やダッチオープンなどの野外炊飯や自然を楽しむ野外ゲームはもちろん、バドウォッチングも楽しめます。

#### お問い合わせ

神奈川県三ツ沢西町3-1  
(三ツ沢公園内)  
TEL.045-314-7726  
FAX.045-311-6444

### ② くろかね青少年野外活動センター



#### 施設機能



宿泊定員：宿泊室 50 人  
テント 100 人

#### 施設からのひとこと

自然に囲まれながらのテント生活、自然の素材を使ったクラフトなど楽しいイベントを実施しています。

バーベキューなどの野外料理のほか、夏は流しそめん、冬は餅つきが楽しめます。石窯でピザ作りにも挑戦！おなか一杯になったら、自然の中で思いっきり遊ぼう！！

#### お問い合わせ

青葉区鉄町1380  
TEL.045-973-2701  
FAX.045-972-1093

### ③ こども自然公園青少年野外活動センター



#### 施設機能



宿泊定員：宿泊室 150 人

#### 施設からのひとこと

野外炊飯や自然観察はもちろん、経験豊富なスタッフが計画から実施までお手伝いします。

コテージ風の宿泊棟は、少人数で宿泊できる「家族利用デー」があります。

公園内では、小動物を抱ける「ちびっ子動物園」や巨大な「アスレチック」で一日中楽しく遊べます。

#### お問い合わせ

旭区大池町 65-1  
(こども自然公園内)  
TEL.045-811-8444  
FAX.045-812-5778

### ④ 野島青少年研修センター



#### 施設機能



宿泊定員：宿泊室 200 人

#### 施設からのひとこと

200 人分の食事が作れる厨房での調理実習や、目の前の野島海岸でのカヌー体験や潮干狩り、公園内ではバーベキューなども楽しめます。近くには、八景島や車両基地など社会科見学施設もあります。

みなさんの活動に合わせたプログラムを、職員が一緒に組み立てます。

#### お問い合わせ

金沢区野島町 24-2  
(野島公園内)  
TEL.045-782-9169  
FAX.045-701-9599

## 横浜市外の施設



### ① 少年自然の家 赤城林間学園



#### 施設機能



宿泊定員：宿泊室 400 人

#### 施設からのひとこと

赤城山の中腹の緑豊かな自然の中に位置し、野菜の収穫体験やこんにやく作り、手打ちうどんづくり、木の实などを使ったクラフト製作をはじめとした様々なプログラムが家族や親子で楽しめます。

グラウンドや雨天集会場があるため、スポーツや音楽団体の合宿にも最適です。

#### お問い合わせ

群馬県利根郡  
昭和村糸井 7135  
TEL.0278-24-7011  
FAX.0278-24-7966

### ② 少年自然の家 南伊豆臨海学園



#### 施設機能



宿泊定員：宿泊室 200 人

#### 施設からのひとこと

南伊豆の波穏やかで美しい子浦湾に臨む高台に位置し、カッターやカヤックの乗船や、シュノーケリング、魚釣り、アジの干物づくりなどの海ならではの自然体験が、親子や家族で楽しめます。また、合宿で利用される場合には、町内のスポーツ施設のご予約もお手伝いします。

#### お問い合わせ

静岡県賀茂郡  
南伊豆町子浦 1437  
TEL.0558-67-0255  
FAX.0558-67-0420

# 資料3

## 【野外活動施設等】施設別年間利用者数の推移（平成21年度～平成25年度）

（単位：人）

施設名	所在地	ピーク時		実績					H24/H25	備考
		年度	利用者数	H21	H22	H23	H24	H25	増減数	
野島青少年研修センター	金沢区	H19	53,464	48,876	47,499	18,580	41,031	43,508	2,477	被災者受け入れのための営業休止期間あり(H23) 積極的な施設PRによる増
三ツ沢公園	神奈川区	H21	26,852	26,852	22,094	17,047	22,163	22,977	814	積極的な施設PRや利用申請の簡素化等による増
こども自然公園	旭区	H25	30,920	30,809	29,265	24,161	30,600	30,920	320	積極的な施設PRや利用申請の簡素化等による増
くろがね	青葉区	H21	21,348	21,348	18,971	16,594	17,669	19,095	1,426	積極的な施設PRや利用申請の簡素化等による増
道志	山梨県道志村	-	-	8,716	8,050	7,221	6,674			
キャンプ場		H18	4,585	4,442	4,415	3,795	4,009			
スポーツ広場		H20	5,957	4,274	3,635	3,426	2,665			
上郷・森の家	栄区	H19	123,011	108,711	97,667	107,507	101,907	101,479	▲ 428	
赤城林間学園	群馬県昭和村	-	-	38,571	39,319	34,331	40,331	40,630	299	学校利用等の増
学園		H1	40,069	37,897	38,770	33,540	39,513	39,818	305	
キャンプ場		S51	19,918	674	549	791	818	812	▲ 6	
南伊豆臨海学園	静岡県南伊豆町	H22	31,841	30,309	31,841	30,772	16,197	14,935	▲ 1,262	学校利用等の減
計				314,192	294,706	256,213	276,572	273,544	▲ 3,028	

※実績は、宿泊者数と日帰り利用者数の合計です。宿泊者数は述べ人数で計算しています。

※ピーク時の利用者数は、把握できる範囲での数値を採用しています。